

小規模多機能ホーム

みんなの家「ななくさ」

ケア日記

六月

ななくさでは、6月の末で丸3年を迎えます。おかげさまで、何とか運営の方も順調にいき、16名のスタッフで22名の登録されている利用者さんとご家族の毎日にかかわっています。09年は「充実の年」と位置づけて、理念に基づいた親切でよい介護を目指そうと取り組んでいます。

利用者ご家族の会

六月二十七日には、利用者ご家族の会を開催しました。忙しい中、昨年よりも多くの方に参加していただき、和やかな雰囲気の中、充実した時間を過ごすことができました。四月から管理者が変わったことの報告と新たな決意、運営状況の報告、最近の取り組みの様子を、編集されたカメラ映像をテレビに映し出し、音楽をバックにスタッフのナレーションでスライドショーを観ました。映し出される利用者さんの笑顔にご家族の方々も癒されたようでした。

その後ケアマネから四月に改正された介護保険の改正された点について報告があり、小さな学習会となりました。今回の介護報酬3%アップではホームの収入アップには大きく繋がらない事、認定調査マニュアルの改正が介護給付の抑制に繋がること、すべての利用者の方の負担が増えることなどはじめて聞かれるご家族の方は、驚き怒っておられました。介

護認定については二年間の凍結という期限付きの経過措置が採られることとなった。それも介護現場や当事者による運動の成果と位置づけて「小さな声でも声を上げていかなければ何も変わらない」という話にご家族からは「制度やホームが良くなることであれば署名でも何でも協力します」と心強い発言があり励まされました。

意見交換では、ご家族の方それぞれの自己紹介とホームに向けた忌憚のない意見や要望、最近の悩みや心境を話していただきました。同じ悩みや不安を持った人どうしすぐに打ち解けてお互い励ましあい、毎日の暮らしのヒントを出しあったりして良い時間を過ごせました。出された意見を参考にして、ご家族との連携を強め共に利用者さん本人にとって何が一番大切かということを真剣に考えて行きたいと改めて思った家族の会でした。

